



生命と健康を守る。

ディーブイエックス株式会社
株主通信 2023年3月期第2四半期報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

証券コード3079



代表取締役社長

柴崎 浩



To Our Shareholders

株主の皆様へ

ウィズコロナに向けた新たな段階を迎え、
前年同期比で増収・増益となりました。



第2四半期業績予想の修正がございました。修正の要因や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、当第2四半期累計期間の業績について総括をお願いします。
また、2023年3月期の業績予想についてもお話しください。



10月17日に第2四半期累計期間の業績予想を修正しました。まず、売上高は当初予想に対して2.4%減額しました。当初の予想においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を見込んでおりませんでした。第7波の流行による影響

が生じたためです。当初の予想を減額することになりましたが、売上高は前年同期比7.2%の増加であり、半期ベースでは過去最大となりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は概ね解消しつつあると考えています。

利益関連項目は当初予想を上方修正しました。販売管理費の一部に執行の遅れがあったことが主な要因です。通期の業績予想は当初の予想を据え置いておりますが、今後の業績動向を精査・注視して、修正の必要がある場合は速やかに公表いたします。

Q 不整脈事業の市場の見通しと事業戦略についてお話しください。

A 新型コロナウイルス感染症の影響の解消が進み、今後堅調な推移を見込んでいます。循環器分野の専門性という強みを活かしながら、施設拡大、品目拡大、領域拡大による量的拡大を進めるとともに、メーカーとの協業、高利益率商品の販売拡大など利益率を高める取り組みを行ってまいります。

Q 虚血事業の市場の見通しと事業戦略についてお話しください。

A 当第2四半期累計期間においては、レーザー事業の取引条件の変更にともない、大きく利益が縮小しました。したがって新たな総代理店事業の構築と自社企画商品であるRAQUOS事業の育成が急務であると考えています。今上期より本格的な販売を開始したRAQUOS事業については、国内トップシェアを目指すとともに、早期に海外輸出を開始するための準備も行っています。

Q その他事業の市場の見通しや事業戦略についてお話しください。

A 脳、腹部、心臓などの領域は当社として新たに参入した診療科目であり、まだ伸びしろが大きく、売上高は好調に増加しています。今後人材の確保があらためて必要になるかもしれません。当社のものづくりへの展開結果である自社企画商品も継続的に売上高が増加しています。利益率が高いことから当社の粗利率改善に寄与する事業として、今後も医療現場のニーズに応える企画、開発を進めてまいります。

Q 2022年8月に公表されました、2023年3月度を初年度とする中期経営計画について教えてください。

A これまで当社は、中期経営計画を非公表としてまいりましたが、中長期的なビジョンや戦略の方向性をステークホルダーの皆様と共有することで、当社の持続的な成長、中期的な企業価値の向上に向けた建設的な対話がより可能となると考え、当上期8月に中期経営計画を公表いたしました。

事業構造の変革のために、「利益率、生産性向上」「地域的依存度の低減」「強靱な事業ポートフォリオ」「新たな成長基盤の強化」「成長基盤の強化に資する組織の強化」の5つをテーマとし、中長期戦略および中期計画に落とし込んでいます。詳細は中期経営計画を当社ホームページに掲載しておりますので、ご参照をお願いいたします。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当社は継続的かつ安定的な配当による株主還元を行うことを基本として配当を決定することとしています。2021年3月期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収減益となりましたが、期末配当の1株当たり配当24.0円の変更は行いませんでした。また、2022年3月期期末配当は配当方針および業績結果を踏まえ前期実績より1円増配し、1株当たり25.0円といたしました。今期の期末配当につきましては前期末同様1株あたり25.0円を予定しております。

当社は「生命と健康を守る」をパーパスとして、社会の、そして当社事業のサステナビリティを意識した経営を進めてまいります。持続的に当社事業が成長することが、株主の皆様への還元拡大につながるものと考え、邁進してまいりますので、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

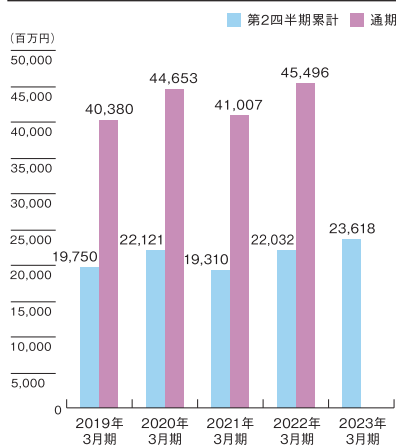
財務ハイライト (2022年4月1日～9月30日)

当第2四半期決算のポイント

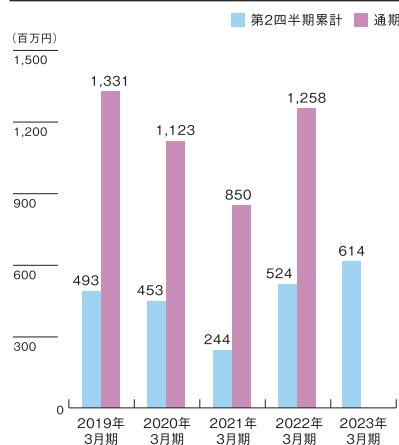
新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一部あったものの、前年同期比で増収・増益となりました。

当第2四半期累計期間の売上高は236億1千8百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は5億9千8百万円(同14.4%増)、経常利益は6億1千4百万円(同17.2%増)、四半期純利益は4億1千6百万円(同15.7%増)となりました。

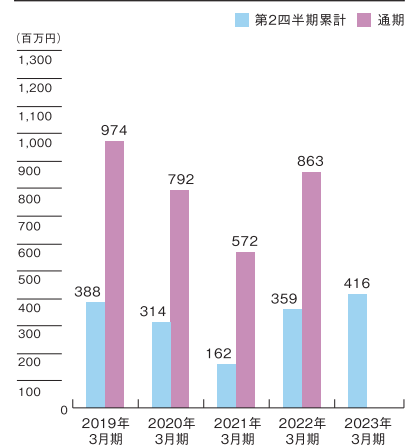
売上高



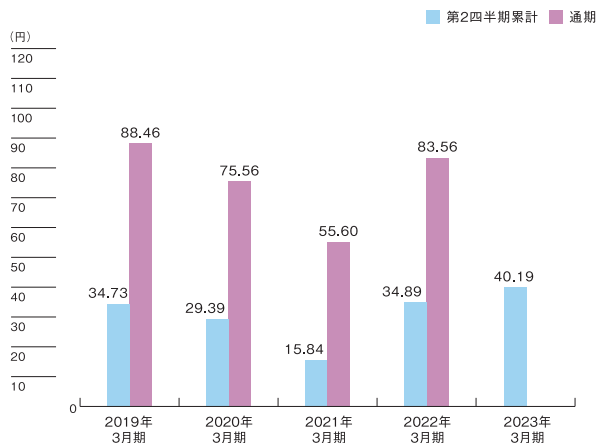
経常利益



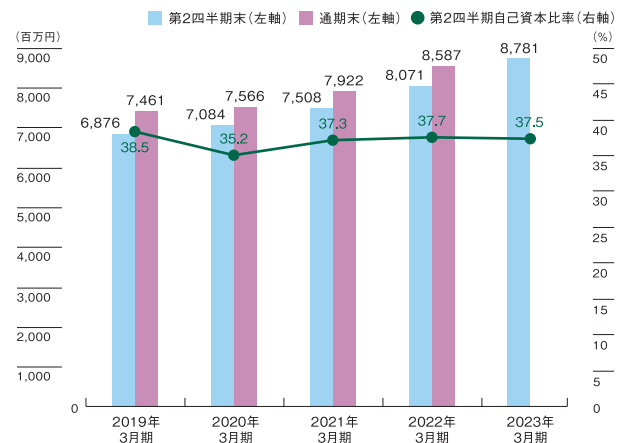
四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



純資産 / 自己資本比率



ポイントの解説

1 売上高

新型コロナウイルス感染症拡大による症例数の減少が4月および8月に見られましたが、概ねその影響は解消傾向にありました。その結果、当第2四半期累計期間における売上高は、前年同期比で7.2%増加し、236億1千8百万円となりました。

2 営業利益

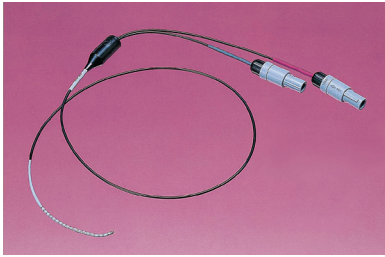
売上総利益は前年同期比4.4%増加しましたが、販売費および一般管理費の増加は1.8%にとどまりました。その結果、営業利益は前年同期比14.4%増加し、5億9千8百万円となりました。

事業セグメントの状況

不整脈事業 Arrhythmia Business

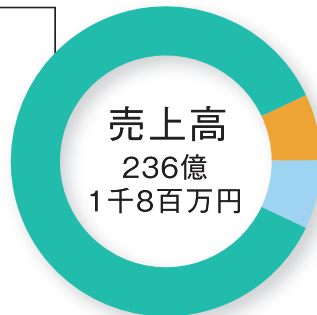
当第2四半期累計期間実績
売上高202億9千2百万円

新型コロナウイルス感染症拡大の第7波の影響が8月にありましたが、概ね影響は解消しつつあります。医療機関における医療提供体制の拡充にともない、売上高は20,292,327千円(前年同四半期比6.2%増)、セグメント利益は2,241,385千円(前年同四半期比9.2%増)となりました。



電極カテーテル

不整脈の診断や薬効評価に欠かせない心臓電気生理検査用カテーテルや、およびアブレーション(焼灼)治療用カテーテルなどがあります。



事業セグメント別売上高構成比

不整脈事業	85.9%
虚血事業	6.9%
その他	7.2%

*「その他」においては、脳外科商品、一般外科商品、消化器商品、放射線防護用品などを販売しております。

虚血事業 Ischemia Business

当第2四半期累計期間実績
売上高16億3千2百万円

販売代理店業として扱っている商品の売上が増加したものの、利益率の高い輸入総代理店業として取り扱っていたエキシマレーザ血管形成システムの日本国内における製造販売業の承認が移管されたことから、当第2四半期累計期間の売上高は1,632,197千円(前年同四半期比8.9%増)、セグメント利益は188,648千円(前年同四半期比39.1%減)となりました。



エキシマレーザ血管形成システム

現在日本国内においてエキシマレーザによる治療は「心内リード除去術」「冠動脈形成術」「末梢血管形成術」の3つに適用が認められています。

営業の概況

Operating Results

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が一部残るものの、医療の安全、安心のために安定して商品を生供給し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は半期ベースでは過去最大の額となりました。

2023年3月期(通期)の業績予想

Outlook

2022年5月16日公表の通期予想を据え置いております。

2022年5月16日公表の2023年3月期の業績予想に対し、当第2四半期累計期間における進捗率は売上高46.7%、営業利益49.9%、経常利益51.2%、当期純利益52.0%となっております。今後の業績動向を注視・精査し、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2023年3月期の業績予想

(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年3月期	50,537	1,200	1,200	800
2022年3月期(実績)	45,496	1,252	1,258	863
増減率(%)	11.1	△4.2	△4.7	△7.2

当社に関する詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

<https://www.dvx.jp/ir/index.html>

最新のIR情報を掲載しています。

DVx

検索

 Front Line

当社は事業の健全な継続と発展に向けて、2022年4月1日に経営理念を一部あらためました。
ミッション、ビジョン、バリューに加え、当社の存在意義そのものを表すパーパスを新たに定めております。
今日も、未来も、「生命と健康を守る」企業であるために、経営および全社員で日々の業務と課題解決に
真摯に取り組んでまいります。

パーパス(私たちの存在理由)

生命と健康を守る。

ミッション(私たちがなすべきこと)

患者・医師・医療関係者にとって有益な製品・サービスを提供し、
最適な医療の普及に貢献する。

ビジョン(その先にある未来像)

- 医療の現場や社会から求められるリーダーを目指す。
- 人種・性別・世代を問わず、多様な個性で変化を捉え、新たな事業を開拓する。

バリューズ(私たちが共有する価値観)

- 私たちは、人に優しい医療の実現に貢献する。
- 私たちは、ニーズを捉え、最適なサービスを考える。
- 私たちは、相互に理解し合い、相互に助け合う。
- 私たちは、自己の目標を定め、常に能力の向上を目指す。
- 私たちは、適正な利益を確保した公正な取引を行う。
- 私たちは、人の『心』をもって正直に行動する。

インフォメーション

会社の概要 (2022年9月30日現在)

商号	ディービエックス株式会社 (DVx Inc.)
設立	1986年4月1日(昭和61年4月1日)
資本金	344,457千円
本社所在地	東京都豊島区高田2-17-22 目白中野ビル5階
代表者	代表取締役社長 柴崎 浩
従業員数	332名
事業内容	医療用機器、関連周辺機器ならびに関連材料の輸出入 および製造、売買、修理、保守点検、賃貸、リース 医療用機器ならびに関連周辺機器の研究・開発 医療用システムの設計、売買および輸出入 医療用コンピューターの設計ならびに製造、売買 健康および医療に関する機器・器具の輸出入および製造、 売買、修理、保守点検、賃貸、リース 医薬品、医薬部外品、化粧品、健康食品、日用雑貨品、 介護用品および介護機器の輸出入および製造、売買、 修理、保守点検、賃貸、リース 医療および医療用機器全般のコンサルティング業務 ならびにサービスの内外提供 医療出版および市場調査を含む関連サービスの内外提供 古物の売買 その他付帯または関連する一切の事業および投資
営業所	北海道営業所 仙台営業所 茨城営業所 千葉営業所 群馬営業所 埼玉営業所 栃木営業所 東京都営業所 東京中央営業所 八王子営業所 横浜営業所 山梨営業所 静岡営業所 沼津営業所 浜松営業所 名古屋営業所 大阪営業所 福井営業所 京都営業所 広島営業所 福山営業所 九州営業所
出張所	島根出張所 岡山出張所 高知出張所 宮崎出張所 沖縄出張所
その他事業所	技術研究所 技術サービス課 物流センター

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	柴崎 浩	取締役(社外)	堂垣内 重晴
取締役	鍋谷 正行	取締役(社外)	長谷川 潤
取締役	平能 直弘	取締役監査等委員	宮川 猛
取締役	宮本 聡	取締役監査等委員(社外)	野島 透
取締役	内田 好則	取締役監査等委員(社外)	田上 昭子

大株主 (上位9名) (2022年9月30日現在)

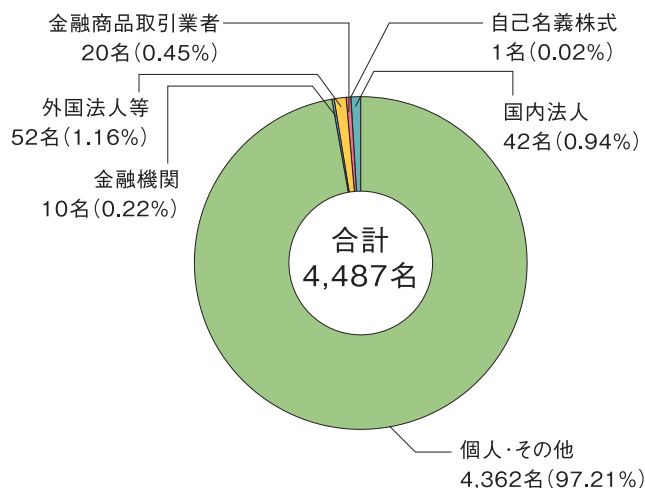
株主名	持株数	持株比率
株式会社MSS	3,479,600株	33.49%
光通信株式会社	771,500株	7.43%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	621,208株	5.98%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	578,000株	5.56%
若林 稲美	322,000株	3.10%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	263,000株	2.53%
株式会社エスアイエル	160,600株	1.55%
宮川 元	136,000株	1.31%
戸田 幸子	134,400株	1.29%

(注) 持株比率は、自己株式(390,944株)を控除して計算しております。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	10,780,000株
株主数	4,487名

所有者別株式分布状況 (2022年9月30日現在)



株主メモ (2022年9月30日現在)

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711(通話料無料)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.dvx.jp/
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)	

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。